

初級Ⅰ 童子クリシュナ

テキストは理論→実践→神話／思想の順にならべてあります。

理論篇では、入門で学んだ「タール」という音楽概念に関わる追加の用語、
もっとも重要な練習のひとつである「朗誦」の意義、舞踊理論の基本「ヌリッタ」「ヌリティヤ」の区別、
そしてカタックの公演がどのように行われるかを学び、実践との結びつきを理解します。

実践篇では、さまざまな小品に挑戦します。
具体的には、入門篇の最後に登場したトゥクラに加えて、ティハイ、チャクラダール・トゥクラ、ギンティおよびその組み合わせを学び、
最後に少しだけ長めのアーマッドをもって完了とします。

神話／思想篇では、インドの誰もが知っている「童子クリシュナがバターを盗むはなし」を覚えます。

タール／Taal／ताल に関連する追加の概念

入門篇で16拍からなるティーンタールについて学びました。
タールのなかでいちばんよく使われる「タールの王」です。

その一周を「アバルタン (Avartan)」という。
タールの一拍目、頭の拍を「サム (Sum)」という。
拍 (beat) のことを「マトラ (Matra)」という。
これを入門篇で学びました。

Dha	Dhin	Dhin	Dha
Dha	Dhin	Dhin	Dha
Dha	Tin	Tin	Taa
Taa	Dhin	Dhin	Dha
ダー	ディン	ディン	ダー
ダー	ディン	ディン	ダー
ダー	ティン	ティン	ター
ター	ディン	ディン	ダー

ここでは次の三つの概念を覚えましょう。

タリ (Tali) 朗誦のときに手を叩く拍。ティーンタールでは1, 5, 13拍目
カリ (Khali) 朗誦のときに手を空かす拍。ティーンタールでは9拍目
おそらくはリズムの構造と波を把握するために生まれた概念と思われます。

テカ (Theka) タールの構造を示す基本パターン。土台として繰り返し用いられる定型的なリズム。
ティーンタールの場合は左記のように「Dha Dhin Dhin Dha～」

ボル（Bol）	リズムを発声するときの音節をいう。「Dha」「Tat」「Thai」「Kran」など無数にある。						
	このボルは文脈に応じて①最小単位の音節という概念と、						
	②音節を組み合わせられてつくられたリズム構造の全体を指す場合がある。						
	実践レベルでは②のほうが多い。						
	以下、ボルという言葉は基本的に②の意味で使います。						
ボル／Bol／बोलの朗誦 = パダント／Padhant／पढ़न्त について							
カタックの演目はボルによって構成されています。別の言い方をすると、ある演目を構成するリズム言葉の全体を指してボルといいます。							
カタックの練習のもっとも基本的なかたちは、ボルを先生が朗誦し、それを生徒が書きとめ、朗誦の練習を行い、次いで振りを習うというかたちになります。							
朗誦のことをパダントといいます。							
パダントは最も重要な練習のひとつです。							
リズム感を鍛える、正確にリズムを把握するための重要な練習です。							
また公演でははじめにダンサーあるいは演奏者とともに座る朗誦者がボルを朗誦し、それから踊り始めるという形式が一般的です。							
踊りの練習というと振付だという印象が大きいことから、パダントをおろそかにするひとが多いですが、間違いです。							
テンポをキープできなかったり、表裏を正確に把握できなかったりすると、最後のポーズだけなんとなくサムにあわせるみたいなことになりがちです。							
しっかり練習しましょう。							
踊りの性質に基づく二分類＝ヌリッタとヌリティア							
インド舞踊には踊りをその性質によってふたつにわけ二項対立的に把握する伝統があります。							
ヌリッタとヌリティアです。							
ヌリッタ／Nritta／नृत्त		pure dance, abstract dance		純粋舞踊、抽象舞踊			
ヌリティア／Nritya／नृत्य		expressive dance, story dance		表現舞踊、物語舞踊			
ヌリッタは、意味のないリズムとかたちによるダンスです。カタックの特徴はヌリッタが抜群に発達したことです。							

ヌリティヤは、感情や出来事や物語舞踊を表現します。表現の技法のことをアビナヤ（Abhinaya）といいます。									
カタックの公演の基本構造としては、ヌリッタからはじまり、後半にヌリティヤが登場します。									
ヌリッタ部分では、タールの伴奏のうえに、数十秒から1分程度の演目を複数並べていきます。									
ヌリッタ部分では、3分～10分程度のまとまった「曲」にあわせて踊られるのが一般的です。									
学習のカリキュラムとしてもはじめのメインはヌリッタであり、踊りの身体をつくってから、ヌリティヤに進みます。									
ヌリティヤはインドの神話や物語の知識、風俗習慣が前提となるため、一般論として外国人にはわかりづらい、むづかしいものです。									
またヌリティヤは顔の表情をつくったりしますので、インド人にとっても容易ではありません。									
そのため、学習時間や習得量としては、ヌリッタが中心となるのが自然な傾向です。									
もちろんこれは大きな傾向としてそうなので、実際の演目では、ヌリッタとヌリティヤは常にある程度混在しており、完全に分離されているわけではありません。									
イベントなどで披露される機会が多いのも、ヌリッタ系統のダンスです。生演奏を用意するのは難しいため、たとえばティーンタールのリズムに複数のボルを重ねて録音し、5分や10分ほどの長さに編集して「1曲」として構成することが一般的です。									

[illegible]

第2ティハイ（数かぞえ）			※Ginti Ki Tihai　＝数を数えるティハイ		ギンティ(数を数える) は数を増やしたり減らしたしてリズムを構築します。 単なる数列を藝術表現にまで高めたのがビルジュ・マハラジです。		
1234	123						
1234	123		1	2	3	4	
123	123		Ek	Do	Teen	Chaar	
123	123		エーk	ドー	ティーン	チャーr	
12	123						
12	123						
1	123						
1	123						
Taa Thai Thai Tat	Aa Thai Thai Tat		ター テイ テイ タッ	アー テイ テイ タッ			
Thai Taa Thai			テイ ター テイ				
3回繰り返す							
第1、第2チャクラダール・トゥクラ			Teental Madhya Laya				
Chakradar Tukra							
入門篇の手の動き＝ハスタの箇所でウルドゥワ・ハスタ・チャクラ（Urdhva Hasta Chakra）というのがあったと思います。							
Chakradar はこの Chakra と同根の言葉です。Chakra は回転とか円環という意味でしたが、そこから転じて、							
カタックでチャクラダールといったら3回繰り返すときに使います。「チャクラダール○○」で、「○○」を3回繰り返すのです。							
3回繰り返すといったら「ティハイ」です。どちらも3回繰り返します。違いは、							
ティハイはどのマトラ（拍）からのスタートできます。チャクラダール・○○はサム（タールの最初のマトラ）からしかスタートできません。							
第1チャクラダール・トゥクラ							
Taa Thai Thai Tat	Aa Thai Thai Tat		ター テイ テイ タッ	アー テイ テイ タッ			
Taa Thai	Aa Thai		ターテイ	アーテイ			
Tigdha	DigDig	Thai	ティグダー	ディグディグ テイ			
Tigdha	DigDig	Thai	ティグダー	ディグディグ テイ			
Tigdha	DigDig	Thai	ティグダー	ディグディグ テイ			
3回繰り返す							

第2チャクラダール・トゥクラ																								
Tat	Tat	Thai	Tigdha		DigDig	Thai				タッ	タッ	テイ	ティグダー	ディグディグ	テイ									
Tigdha	DigDig	Tigdha	DigDig	Tat	Tat	Thai	1	2				ティグダー	ディグディグ	ティグダー	ディグディグ	タッ	タッ	テイ	1	2				
Tigdha	DigDig	Tigdha	DigDig	Tat	Tat	Thai	1	2				ティグダー	ディグディグ	ティグダー	ディグディグ	タッ	タッ	テイ	1	2				
3回繰り返す																								
シャマ・タイのトゥクラ Shama Tai's Tukra										Teental					Madhya Laya									
ホームページ内の拙文「カタックについて」に登場したヌータン先生のお師匠様「シャマ・タイ」のシンプルなトゥクラです。																								
とても美しいものです。しっかりと練習しましょう。																								
Taa	Thai	Tat	1		2					ター	テイ	タッ	1		2									
Aa	Thai	Tat	1		2					アー	テイ	タッ	1		2									
Thai	1		2		Thai	1		2		テイ	1		2		テイ	1		2						
Thai	yi...								テイ	イ...														
Tat	Tat	Taa							タッ	タッ	ター													
トゥクラ→ギンティ										Teental					Madhya Laya									
トゥクラとギンティ（数かぞえ）のセットです。トゥクラはリズムとしては👉のシャマ・タイのトゥクラと同じです。																								
Taa	Thai	Tat	1		2					ター	テイ	タッ	1		2									
Aa	Thai	Tat	1		2					アー	テイ	タッ	1		2									
Thai	1		2		Thai	1		2		テイ	1		2											
Thai	yi...								テイ	イ...														
Tat	Tat	Taa							タッ	タッ	ター													
👉																								
1										1	2	3	4	5	6	7	8							
12										Ek	Do	Teen	Chaar	Paanch	Chhah	Saat	Aath							
123										エーk	ドー	ティーン	チャーr	パーンch	チェーh	サーt	アーt							
1234																								
12345																								
123456																								
1234567																								

[illegible]

バターを盗むクリシュナ



いたづらしないう縛られるクリシュナ

